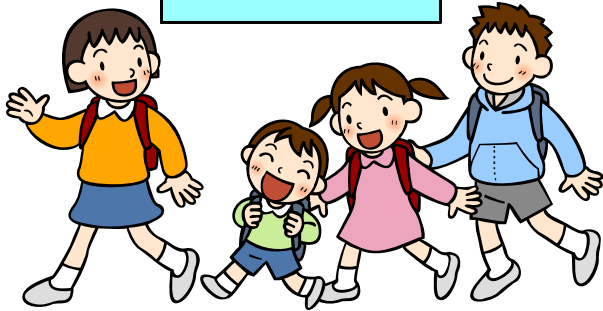


コミュニティ・スクール を目指して

令和2年度版



佐川町立黒岩小学校

本校は、来年度からコミュニティ・スクールになることを目指しています。コミュニティ・スクールとは何なのか、コミュニティ・スクールになると何が変わるのか、既にコミュニティ・スクールとなっている先進校の事例について、以下にご説明します。

コミュニティ・スクールとは？

学校が抱える様々な課題を解決するため、学校の運営を教職員だけで行うのではなく、保護者や地域の代表者に参画してもらい、一緒に考えていく仕組みが「コミュニティ・スクール」です。この仕組みは法律によって制度化され、国は令和4年度末までに全国の全ての公立学校のコミュニティ・スクール化を目指しています。

(現在、全国の約30%の学校がコミュニティ・スクール化)

コミュニティ・スクールには次の2つの面があります。

○学校運営協議会の設置

学校運営協議会とは、学校の理事会にあたる組織で、学校の方針を決定します。校長が毎年立てる学校経営方針を承認するとともに、学校運営に対して様々な意見を出します。小学生だけでなく保育園児も含めて、黒岩地区の子どもの課題解決を目指し、保育所・小学校・保護者・地域住民が意思形成を図ります。

コミュニティ・スクールになって変わること

コミュニティ・スクールになったからと言って、学校の仕組みそのものが変わってしまうわけではありません。今までの取組をバージョンアップして一層充実させるとともに、保護者・地域のみなさんのご意見をより一層反映させたものになっていきます。

○学校の方針を保護者・地域と一緒に作る

今の黒岩の子どもたちの教育に何が必要なのか、学校運営協議会でしっかり協議し、学校の方針を作っていきます。そのためには、今まで以上に学校からの情報発信を行い、学校の様子を保護者や地域住民にもっと知ってもらうことも必要ですし、アンケート集計結果など保護者・地域住民の声をしっかりと分析することも必要です。そのうえで、学校の方針を決定していきます。協議会委員は、これまで開催してきた「開かれた学校づくり推進委員会」と「地域学校協働本部事業運営委員会」のメンバーにお願いする予定です。



○地域学校協働活動の実施

これまでたくさんの保護者・地域の方にお世話になって、地域のことや昔の遊びを教えてもらったり、学校の環境整備に協力していただいたりしました。これをさらに充実させ、地域と学校が協働で子どもの学びを考えていこうとするものが地域学校協働活動です。地域コーディネーターが、学校と地域をつなぐ役割を果たします。



○地域活性化への貢献

学校も地域の一員です。地域のみなさんに助けをもらうだけでなく、黒岩地域の活性化に向けて学校も貢献していくべきです。学校運営協議会で「地域活性化への貢献」を学校の方針として決定したうえで、児童・教職員が地域の様々なイベントに積極的に参加・協力していきます。

裏面も見てね

先進校の取組紹介

既にコミュニティ・スクールとなっている中土佐町立上ノ加江小学校の取組を紹介します。上ノ加江小学校は平成27年度からコミュニティ・スクールとなり、今年で6年目です。

学校運営協議会

年6回開催し、子どもの課題解決に向けた協議を行っています。協議の中から、右の写真のような「こども食堂」のような取組も行われています。朝食欠食の児童が多いという実態から、県教育委員会の支援を受け、朝食提供活動を行いました。

○令和元年度の主な協議内容

- ・総合的な学習（自主防災会との協働学習）
- ・運動会の開催時期（中学校統合を見据えて）
- ・プールの水温対策（町教委へポンプ修復の要望）
- ・地区民運動会への参加（PTAへの協力依頼）



熟議および学校教育目標の設定

年1回学校の全教職員が学校運営協議会に参加し、子どもの課題解決に向けてアイデアを出し合う「熟議」を行っています。いくつかのグループに分かれ、参加者が対等な立場で付箋を使って意見を出し合います。右の写真は、あるグループのまとめです。この時の議論を基にして、次年度の学校教育目標を、学校運営協議会で決めました。

○熟議で出されたアイデア

テーマ「自信のある子どもを育てるためには」

- ・地域みんなで子どもをほめる（運動会で子どもをほめよう）
 - ・時間がかかっても、子どもに任せてみる（成功体験）
 - ・地域の協力で、いろんな体験をさせる
- ※学校だけで子どもを育てようとしな



○次年度の学校教育目標
「自信をもって行動できる児童の育成」

地域学校協働活動

地域コーディネーターの支援のもと、様々な学校支援活動が行われています。右の写真は、週1回の計算練習「上小タイム」に、丸付けボランティアとして関わってもらっている様子です。地域の方に丸付けをしていただいている間に、担任は学習につまずきのある児童への指導を行うことができます。

○その他の学校支援活動

- ・伝統芸能指導（花取り踊り）
- ・体験活動協力（海での遊び）
- ・学校行事での写真撮影
- ・読み聞かせ など



地域と協働で取り組む防災学習

地域における防災の取組を知るとともに、地域の一員として自分たちにできることを考え実践してみることを目的に、地域と協働で防災学習を行いました。学習成果は、地域のイベント「上ノ加江元気まつり」で発表しました。

○テーマ別グループ

- ・上小災害調査隊（避難所生活について調べる）
- ・ひなん場所調査チーム（避難道・避難場所について調べる）
- ・BSKチーム（防災食について調べる）

